

哲學研究

第四十七卷 第十一册

第五百五十三號

昭和六十一年九月二十日發行

彙報

曼荼羅の構成(二)……………	清
「真理への意志」……………	圓
——近世哲学に於けるその内的變動——	増
デカルトにおける意志の問題……………	安
——意志と <i>indifferentia</i> ——	藤
トマス倫理思想の基礎……………	中
——至福への本性的欲求について——	村
(資料)西田幾多郎・全集未収載遺稿(三)	
(討論)田村均氏の書評に答う……………	神
(書評)藤田正勝著……………	早
「若きヘーゲル」……………	瀬
	野
	慧
	一
	郎
	明
	治
	人
	之
	三

京 都 大 學 文 學 部 内

京 都 哲 學 會

會 告

京都哲學會公開講演會豫告

日時 十一月三日(月)午後一時半
會場 京都大學文學部第七講義室

- 一、古典インドにおける創造の概念……………京都大學教授 服部 正 明
一、繪畫表現の背景……………京都大學助教授 佐々木 丞 平
(順不同)

※右終了後京大會館において懇談晚餐會(パーティー形式)を開きます。(會費約四千圓)

※所屬機關長宛出張許可依頼狀御入用の方は京都哲學會までお申出下さい。

※當分の間、本學會公開講演會は毎年十一月三日、京都大學文學部で開催いたします。

昭和六十一年九月

京 都 哲 學 會

様な一見純粹に理論的な問題に際しても、其の根底に、若き思想家達に於ける・具体的な歴史的現実との・絶えざる思想的格闘が存在していた事は確かであると信ぜられるのである。斯くて、自己自身の歴史的現実との・ヘーゲルの思想的対決を主題的に問わない場合、「反省形式への変化」の「必然性」の解明は、其の最も核心的な部分において、数多くの未解明のものを残さざるをえないのではないか、之が評者の結論である。

最後に第三の問題、即ち「反省形式」の中に結晶した思索の内容と其の独自性の解明に就て。——此の点に関しては、少くとも事実関係に関する限り、評者は、著者の見解を根本的に支持するものである。少くとも我々が現時点に於て入手可能な・ヘーゲル及びシェリングの全集乃至関連資料に基づく限り、著者の解明し得た事柄は一般に承認さる可きものであると信ぜられる。

以上、本書を構成する三つの主要問題に即して、評者の見解の一端を明らかにしたが、此の批評が何らかの学問的対話の発端と成らん事を切に願いつつ擲筆したい。(了)

(筆者 はやせ・あきら 京都大学文学部〔西洋近世哲学史〕
 研修員)

前 号 目 次

普通概念としての多様体……………	澤 口 昭 肆
「相互作用論」のモデル序説(完)……………	宝 月 誠
事物の類似たるイデア……………	長 倉 久 子
——ボナヴェントゥラのイデア論に おける問題——	
デカルトにおける自然学の形而上 学的基礎づけ……………	小 林 道 夫
——伝統的存在論との対比において——	
〔資料〕 西田幾多郎・全集未収載遺稿(二)	
〔学界展望〕 西田哲学をめぐる……………	大 橋 良 介
最近の論点 ——書評を兼ねて——	
〔書評〕 岩波哲男『ヘーゲル宗教……………	氷 見 潔
哲学の研究——ヘーゲル とキリスト教』	

松川 順子 知覚的認知過程に関する研究

社会学

溝部 明男 四機能パラダイムとパターン変数

——四つの次元の相互独立性と網羅性について——

美学美術史学

上倉 庸敬 美の諸芸術の分類

——エチエンヌ・シルソンの芸術哲学——

中島 博 鎌倉時代の尊像画における説話的要素について

次号論文預告

空と慈悲(仮題).....	梶山 雄一
法律学と哲学.....	田中 成明
劇としての『精神現象学』.....	門脇 健
——一八〇六年のシェークスピア——	
スピノザの倫理思想における.....	真田 郷史
目的因の否定	
——人間本性の型(exemplar humanae naturae)をめぐる——	
〔回想〕『哲学研究』の思い出.....	小田 武
哲学研究第四十七巻総目録	

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都二一四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年三、六〇〇圓、但し、會誌數冊分）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣に關する一切は東京都千代田區一番町一七番地創文社（振替口座東京二一九二四七二番）宛に願います
一、會員の轉居・入退會の事務及び編輯事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい

一、本誌の編輯に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和六十一年九月十五日 印刷
昭和六十一年九月二十日 發行

編輯兼 京都大學文學部内
發行人 京都哲學會
編輯代表 酒 井 修
編輯担当 美 濃 正

賣 捌 所 株式會社 創 文 社

久保井理津男
東京千代田區一番町一七番地
振替口座 東京二一九二四七二
電話東京二六三七一〇（代表）
印刷所 曉印刷株式會社
東京都文京區関口一―二四―八

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御注文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい
一、本誌の御注文はすべて代金送料共（一部、送料六〇圓）前金にてお送り下さい

昭和六十二年九月二十五日發行

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XLVII

September

1986

No. 11

Articles

On the Construction of Mandara(II) Zenzo Shimizu

Der Wille zur Wahrheit

— *Im Hinblick auf dessen Bewegtheit
in der modernen Philosophie* —

..... Haruyuki Enzô

Le problème de la volonté chez Descartes

— *la volonté et l'indifférence* —

..... Masato Ando

The Basis of the Moral Theory of St. Thomas

— *The Natural Desire for the
Intuitive Knowledge of God* —

..... Osamu Nakamura

Material

Three Unpublished Writings of Kitaro Nishida

Discussion

Reply to Tamura on Studies in Hume's Philosophy

..... Keiichiro Kamino

Book Review

Masakatsu Fujita: Wakaki Hegel (Der junge Hegel)

..... Akira Hayase

Notes

Published by

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

ISSN 0386-9563

雑誌コード 06427-9 特別定価 1,500圓